

日本学術会議 科学者委員会 学術体制分科会 (第12回)

議事要旨

日 時：令和2年2月17日(月) 15:00-17:30

会 場：日本学術会議 6-C (1) 会議室 (6階)

出席者：佐藤委員, 武田委員, 橋本委員, 高橋委員, 澁澤委員, 小安委員, 梶田委員,
藤井(孝)委員, 藤井(良)委員, 井野瀬委員, 盛山委員, 和田委員, 菱田委員,
三成委員 (SKYPE 参加), 岩崎委員 (SKYPE 参加)

参考人：丹下第二部会員

事務局：犬塚参事官、高谷専門職、大澤専門職付

欠席者：岡崎委員, 荻部委員, 高村委員, 五神委員, 竹中委員, 松田委員

議題：

- 1) 科学技術基本法改正への対応と「声明」のフォローアップ
- 2) CSTI「第5期基本計画レビュー」に関するヒアリング
- 3) 学術フォーラムについて
- 4) その他

資料1：「科学技術・イノベーション創出の総合的な振興に向けた科学技術基本法等の在り方について」(CSTI 制度課題WG) (令和元年11月20日)

(1) 概要

(2) 報告書及び参考資料 (一部抜粋)

資料2：「科学技術基本法改正に関する日本学術会議幹事会声明」(令和2年1月28日)

資料3：CSTI「第5期基本計画レビュー」

(1) 菱田委員資料

(2) 丹下参考人資料

資料4：学術フォーラム企画案

資料5：第9回(令和元年8月8日)議事要旨(案)

資料6：第10回(メール審議結果)

資料7：第11回(メール審議結果)

参考資料：提言「第6期科学技術計画に向けての提言」

議事：

佐藤委員長から本日の議題についての説明と、前回会合および、メール審議に関する議事録(資料5, 6, 7)承認に関する発言があった後、個別項目の議事に入った。

1) 科学技術基本法改正への対応と「声明」のフォローアップ

佐藤委員長から、資料1(1)、1(2)、資料3及び追加資料を利用して、CSTI基本計画専門調査会制度課題ワーキンググループのこれまでの活動とそれに対する学術会議内での議論状況、さらに本年1月28日発出の「科学技術基本法改正に関する日本学術会議幹事会声明」について説明があった。続いて、自由討論の形で、進みつつあるこれらの議論を受けた分科会からの意見発出の必要性や方法、そして今後の分科会活動に関する意見交換が行われた。最終的に、分科会からの意見は、5月9日開催を予定している学術フォーラムでの議論に活かしていくという方針が確認された。

2) CSTI「第5期基本計画レビュー」に関するヒアリング

学術会議を代表して「第5期科学技術基本計画にレビューに係る内閣府とMRIの検討会」に参加している菱田委員と丹下参考人から、資料3-1、資料3-2を用いて、検討会での作業内容やとりまとめの方向性などの説明があった。とりまとめ結果は、CSTI有識者会合での議論に反映されること、学術会議からの参加が有意義であったこと、4月以降に議論が再開されることから今後の参加において継続的に意見を反映させていくことなどが確認された。

3) 学術フォーラムについて

佐藤委員長から、5月9日(土)に開催を計画している学術フォーラム「日本の学術の現状と展望―第6期科学技術基本計画に向けて(仮題)」の概要説明があり、未確定の講演者に関する意見交換を行った。計画されている講演候補者に連絡をとり、プログラムを確定していく。

4) その他

前回議事録、メール審議議事録の承認が確認された。本日の議論に基づき、4月以降も2回程度にわたり、この分科会の開催を予定することが確認された。今後の分科会では、提言に盛り込んだ基礎研究の充実がどのように基本計画に反映されていくか、基本法の見直しで生まれる「イノベーション創出」がどう学術に影響を与えるかなどを注視し、必要な意見集約を図っていく。

【追記】

その後の新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、5月9日開催予定だった学術フォーラム「日本の学術の現状と展望」は中止することとなった。

以上